

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道業務課
	施策	汚水・雨水対策の充実		電話番号	087-839-2720
	基本事業	汚水対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	合併処理浄化槽設置整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要
 合併処理浄化槽の設置者に対し、補助金を交付することで、合併処理浄化槽の普及促進を図り、生活排水処理対策を推進する。令和元年度から、国の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に重点を置く方針に伴い、本市においても新設に対する補助を廃止した上で、転換に重点を置く取組として、引続き配管費等の上乗せ補助を行うことにより、さらなる転換促進に努める。

年度概要	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽設置費補助 260基 単独浄化槽撤去・配管費補助 220基 委託料 260基 事業費 189,825千円
------	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】


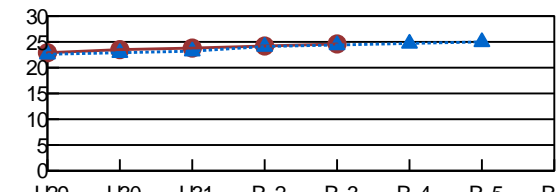
対象(何を)	浄化槽整備区域に居住する市民
意図(どのような状態にしたいか)	浄化槽整備区域における生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。

【事業の活動】

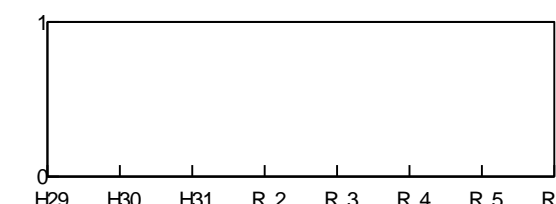
活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
浄化槽設置助成基数	基	254	244	247	260	260

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率	%	目標値	23.2	24.1	24.4	24.7	24.7
		実績値	23.8	24.2	24.6		

成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和3年度末の合併処理浄化槽等による汚水処理人口普及率は、平成25年度からの転換上乗せ補助制度により、合併処理浄化槽の設置整備が順調に進み、24.6%となり、目標値(24.4%)を達成した。	(目標達成度) 		(達成度) 100.8% 35点
------	---	--	--	------------------------

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)		(達成度)
------	---------------------------------------	--	-------

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	209,310	212,667	212,018	213,850
(事業費)	[千円]	187,397	187,288	187,993	189,825
(職員人件費)	[千円]	21,913	25,379	24,025	24,025

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

国の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に重点を置く方針に伴い、転換に重点を置く取組として、引続き配管に要する費用の上乗せ補助を実施し、転換に取り組んだ。
 合併処理浄化槽への転換については、年間約250基程度実施しているが、単独処理浄化槽は、まだ多く設置されているため、継続した取り組みが必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

公共下水道の整備と併せて汚水処理人口普及率の向上に取り組むとともに、今後、国に対して、普及促進に要する経費に対する補助の新設を要望するなどにより、生活排水対策の推進を図る。
 また、令和元年度から、国の方針に併せて新設に対する補助を廃止し、転換に重点を置く取組として、引き続き、配管費等の上乗せ補助を実施し、継続的な転換促進を図っていく。

令和 4年度 (3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道整備課
	施策	汚水・雨水対策の充実		電話番号	087-839-2771
	基本事業	汚水対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 汚水施設整備事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	公共用水域の水質保全と、人々が健康で快適に暮らせる生活環境を創出するため、汚水施設の計画的な整備を行う。下水道事業は、高松市では昭和 8 年から整備に着手し、昭和 40 年に福岡下水処理場で汚水処理を開始、昭和 57 年に東部下川浄化センターの供用が開始された。現在、平成 28 年 3 月に策定した、第 4 次高松市生活排水対策推進計画に基づき、整備を進めている。令和 3 年度末現在、事業計画面積 6 5 6 9 . 7 h a 整備済面積 5 5 0 2 . 5 h a 行政人口 4 2 4 , 5 8 1 人 処理人口 2 7 2 , 7 4 1 人				
年度概要	汚水管きよ整備 (高松、牟礼、庵治、香川、香南、国分寺地区等) 【R4 現】 2 0 0 m m ~ 6 0 0 m m L = 1 , 6 2 0 m 面整備 (高松、牟礼、香川、香南地区等) 【R3 線】 2 0 0 m m L = 4 4 2 m 面整備 (高松、庵治地区等)				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備		

【事業の目的】

対象(何を)	下水道事業計画区域
意図(どのような状態にしたいか)	下水道事業計画区域内で下水道の整備を行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
単年度整備面積	h a	7	4	5	11	28

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標	下水道整備面積	h a	目標値	5,537	5,565	5,575	5,586	5,565
	実績値	5,494	5,498	5,503				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	下水道の整備により生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。(目標達成度)							98.7%
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	(目標達成度)							34点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3 年度 (決算)	令和 2 年度 (決算)	令和 3 年度 (決算)	令和 4 年度 (予算)
トータルコスト	[円]	267,728	168,922	154,314	603,018
(事業費)	[円]	233,956	137,295	122,436	571,140
(職員人件費)	[円]	33,772	31,627	31,878	31,878

【評価】

評価ランク (A ~ D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-----------------	---	-----------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

未整備区域の中でも、費用対効果を含め優先度を考慮の上で、整備に努めた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

第 4 次高松市生活排水対策推進計画に基づき、現下水道事業計画区域内の未整備か所について、私道への布設承諾の取得を含め、汚水管の整備を推進する。
 なお、令和 4 年度から国庫補助を充当し、財政負担の軽減も図る。